

## FCoE ライセンスオプション(PY-FERF01)取扱説明書

このたびは、弊社の FCoE ライセンスオプション(PY-FERF01)(以降、本製品と略します)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品の取り扱いについて記載しておりますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

2012 年 10 月  
富士通株式会社

### 1. 概要

本製品は、PRIMERGY コンバージドスイッチブレード(10Gbps 18/6+6)[VDX 2730] (以降、スイッチと略します) のストレージ関連機能を有効にするライセンスオプションです。

本製品を適用することで、VCS(Virtual Cluster Switching)モードで、FCoE(Fibre Channel over Ethernet)機能や外部 FC ポートを使用することができます。

※VCS は Brocade 社製 VDX シリーズスイッチ同士を接続し、独自の Ethernet Fabric を形成する技術です。

### 2. コンバージドスイッチブレード(10Gbps 18/6+6)[VDX 2730]について

“コンバージドスイッチブレード(10Gbps 18/6+6)[VDX 2730]”は、ご購入時の状態では拡張ライセンスはインストールされておりません。拡張ライセンスは全部で 2 種類(VCS ライセンスと FCoE ライセンス)です。

※“PRIMERGY コンバージドスイッチブレード(10Gbps 18/6+6)[VDX 2730]&FCoE ライセンス&VCS ライセンス”を手配した場合は、拡張ライセンスが全てインストールされています。

必要に応じて本製品を購入してインストールすることで、ストレージ関連機能を有効にすることができます。

### 3. FCoE ライセンスオプションについて

本製品は、トランザクションキーが記載されたライセンスシートという形で提供されます。ライセンスシートに記載されたトランザクションキーを直接スイッチにインストールすることは出来ません。

トランザクションキーとスイッチのLID(License ID)を専用のホームページに入力することで、スイッチ固有のライセンスキーを取得することができます。従って、ライセンスキーを取得するためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。

ライセンスキーの取得は、お客様に行っていただく必要があります。

#### 【ポイント】

- ▶ 本製品は、必ずインストールするスイッチの台数分ご購入ください。

#### 【重要】

- ▶ 本製品は、以下の製品に対するライセンスオプションです。他の製品には使用できません。  
製品名 PRIMERGY コンバインドスイッチブレード(10Gbps 18/6+6)[VDX 2730]  
型名 PY-CNB101, PYBCNB1010, PYBCNB1011, PYBCNB1012

## 4. ライセンスキーの取得

### 4.1 事前確認

ライセンスキーを取得する前に、現時点でのインストール済ライセンスの確認とLID(License ID)を確認します。

#### (1) ライセンスオプションの確認

- 1 telnet/ssh またはマネジメントブレード経由でスイッチ(Network OS)に admin でログインします。  
Network OS へのログイン方法については、VDX2730 ハードウェアリファレンスマニュアルを参照してください。
- 2 「show license」コマンドを実行して、インストール済のライセンスを確認します。  
(ライセンスキーは表示されません。)

#### (2) License ID (LID)の確認

トランザクションキーをライセンスキーに変換するには、スイッチのLIDが必要になります。LIDは装置底面にラベル貼付しています。ラベル位置は、図1を参照してください。(LIDとWWN(World Wide Name)は同値です)

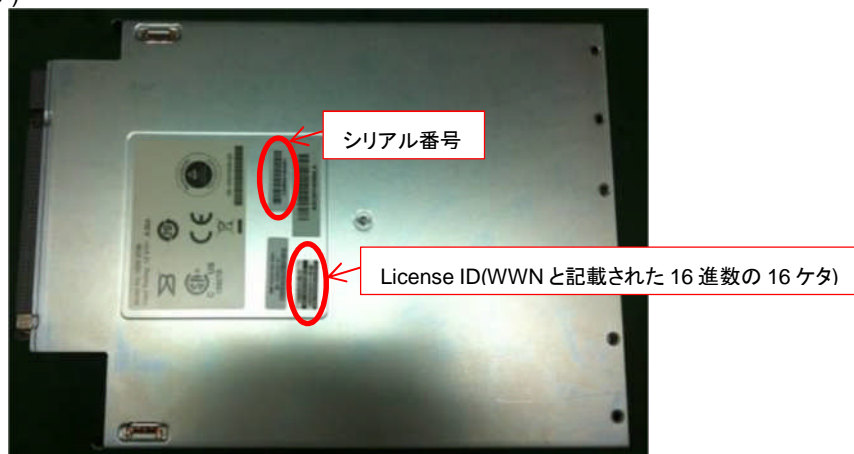


図1 ラベル位置

ブレードシャーシにスイッチを搭載した状態でLIDを確認する場合は、次の方法にて確認することができます。

- 1 telnet/ssh または マネジメントブレード経由でスイッチ(Network OS)に admin でログインします。
- 2 「show license id」コマンドを実行して、装置の LID を確認します。

```
sw0# show license id
Rbridge-Id          License ID
=====
      2              10:00:00:05:33:ED:5C:66
sw0#
```

## 4.2 ライセンスキーの取得方法

Brocade 社のライセンスオプションのライセンスシートに記載されている『トランザクションキー』と装置の LID から装置固有のライセンスキーを取得します。  
ライセンスキーの取得方法は次の通りです。

- 1 次の URL にアクセスします。  
<http://swportal.brocade.com/wps/portal/>
- 2 ソフトウェアポータルログインページが表示されます。  
次の「User ID」と「Password」を入力して、ドロップダウンリストで「Software Licensing」を選択後、[Log In]ボタンをクリックしてください。

User ID : ia-brocade-lg@ml.css.fujitsu.com  
Password : fujitsuadmin

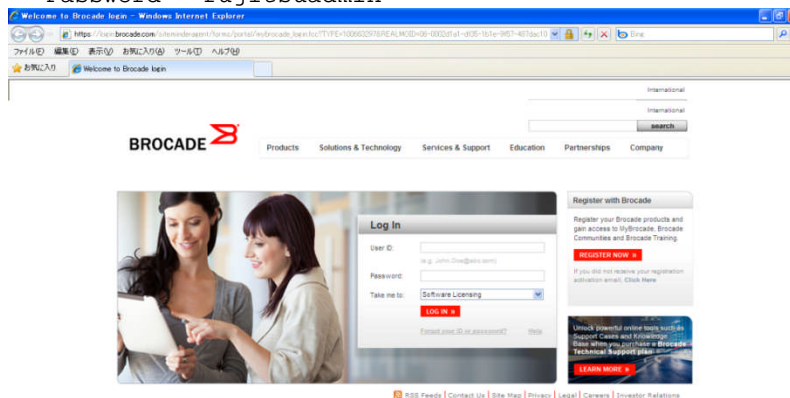


図 2. Brocade ログインページ

- 3 ポータルのメニュー画面が表示されますので、メニューから「License Management」>「Brocade NOS」>「License Generation with Transaction Key」を選択してください。

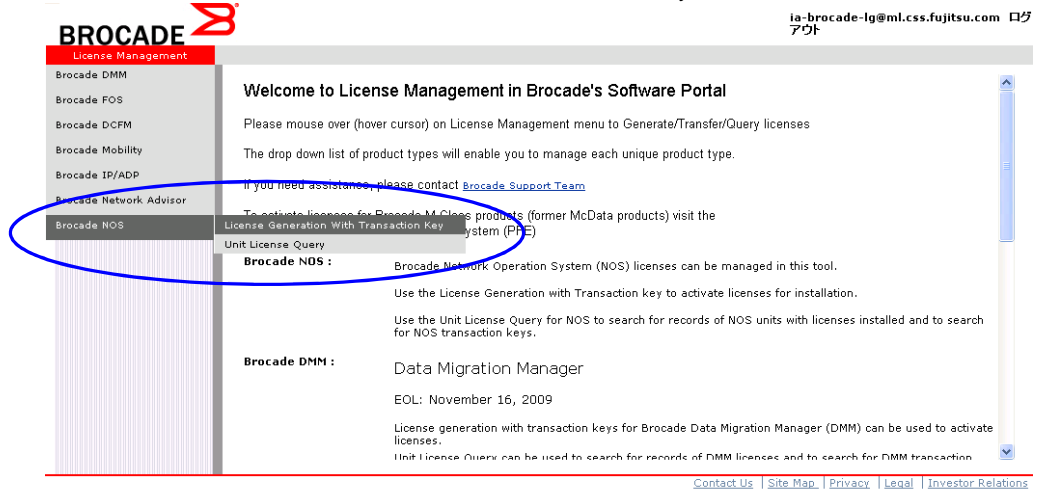


図 3.ライセンスポータルサイトメニュー画面

- 4 ライセンス生成画面が表示されますので次の情報を入力後、[Add]ボタンをクリックしてください。

フィールド	入力内容
Customer email ID	作業された方自身の e-mail アドレス複数アドレスを入力する場合はメールアドレスをセミコロン ";" で区切って入力します。
ID Type	プルダウンメニューから『LID』を選択します。
Unique ID	ライセンスをインストールするスイッチの LID を入力します。16 桁の LID を 2 桁ずつコロン ":" で区切って入力します。
Transaction Key	ライセンスオプションのライセンスシートに記載されている英数記号列を入力します。大文字、小文字に注意してください。

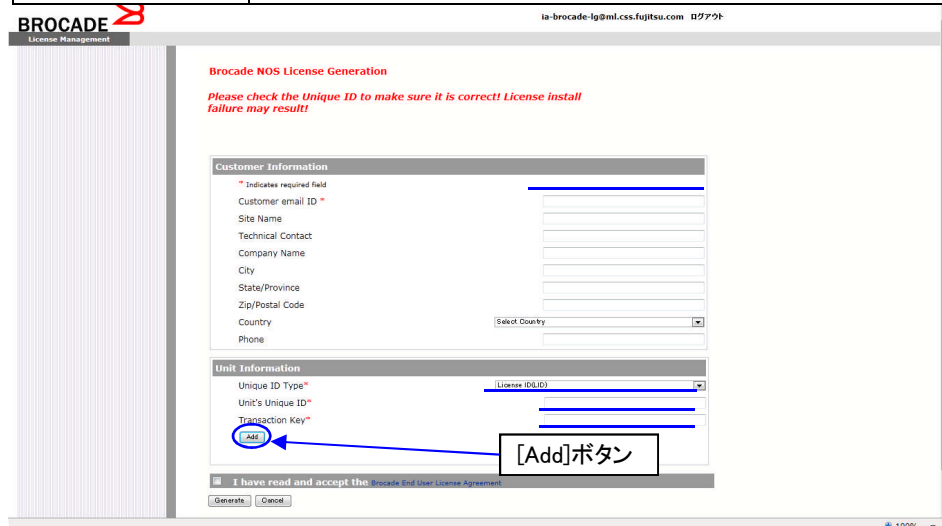


図 4. ライセンス生成情報入力画面

**【重要】**

▶ 各項目は正確に入力してください。特に LID は誤った値を入力しますと、別のスイッチのLID と認識し、正しいライセンスキーが提供されません。ライセンスキーが正しくないとスイッチにインストールすることができなくなります。

表. Transaction key に使用されている文字

文字	数字										アルファベット					
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
シート記載文字種①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
シート記載文字種②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

ライセンスシートに記載されている Transaction Key に使用されている文字は、数字 10 種、アルファベット (大文字) 6 種の計 16 種類であり、これ以外の文字は使用されていません。文字は主に上記 2 種類の文字種 (フォント) で記載されています。

- 5 [Add]ボタンクリックにより、次の例のように生成されるライセンスの情報が表示されますので、それぞれの情報が正しいことを確認してください。正しくない場合は、[Delete]または[Edit]で修正してください。

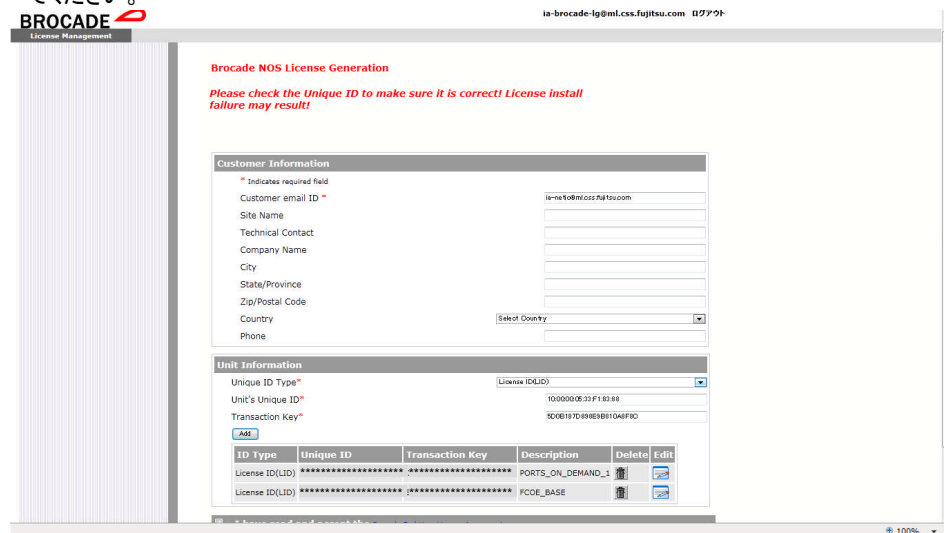


図 5. 入力ライセンス情報

**【重要】**

▶ 必ず各項目に誤りがないことを確認してください。誤った値を入力しますと、正しいライセンスキーが提供されず、インストールすることができなくなります。

- 6 入力した情報が正しいことを確認した後、画面下部の「I have read and accept the Brocade End User License Agreement」にチェックを入れ、[Generate]ボタンをクリックしてください。

図 6. License Agreement 部分

- 7 ライセンスキー表示ページが表示されますので、表示されたライセンスキーを記録します。「License Key」欄のリンクをクリックするとライセンスキーが表示されます。そのライセンスキーをスイッチに入力しますので、ライセンスシートのライセンスキー欄に記録しておいてください。また、このライセンスキーは手順 4 (ライセンス生成情報入力画面)で入力したメールアドレス宛にも e-mail で送付されます。

Customer Information

Customer email ID ia-netio@ml.css.fujitsu.com  
 Site Name  
 Technical Contact  
 Company Name  
 City  
 State/Province  
 Zip/Postal Code  
 Country  
 Phone

Following Generated Licenses have been sent to email ID ia-netio@ml.css.fujitsu.com

ID Type	Unique ID	Transaction Key	Description	Status	License Key	Current Capacity	Previous Capacity
License ID(LID)	*****	*****	PORTS_ON_DEMAND_1	Success	License		
License ID(LID)	*****	*****	FCOE_BASE	Success	License		
License ID(LID)	*****	*****	VCS_FABRIC	Success	License		

Generate Another License

図 7. ライセンスキー表示ページ

- 8 発行されたライセンスキーの記録が完了したら、画面右上の[ログアウト]をクリックしてログアウトします。

## 5. ライセンスキーのインストール

ライセンスキーのインストールはスイッチの CLI を使用して行います。

### (1) ライセンスキーのインストール

- 1 telnet/ssh または マネジメントブレード経由でスイッチ(Network OS)に admin でログインします。
- 2 「license add licstr」コマンドを実行して、ライセンスをインストールします。

```
sw0# license add licstr "xyzxyzxyzxyzxyzxyzxyzxyzxyz"
License Added [xyzxyzxyzxyzxyzxyzxyzxyzxyz]
....
```

“xyzxyz...”の部分には、手順 4.2 で取得したライセンスキーを入力してください。

#### 【ポイント】

- ▶ ライセンスキーは大文字小文字を区別しています。提供されたものと同じものを入力してください。
- ▶ ライセンスキーは必ず二重引用符「”」で囲んでください。
- ▶ ライセンスキーは 4.2 章で入手したものを使用してください。ライセンスシートに記述されているトランザクションキーではありません。

License のタイプによってはスイッチのリポートが必要となる場合があります。「License add licstr」コマンドの出力画面を確認し、適宜「reload」コマンド実行(スイッチのリポート)といった必要な作業を行ってください。

- 3 「show license」コマンドを実行して、追加したライセンスを確認します。  
その時点でスイッチにインストールされているライセンス付き機能がリストされます。  
インストールされているライセンスのリストを確認し、機能がリストされない場合は、「license add licstr」コマンドを再度実行してください。

— 以上 —